

本校実習作品 ミニSL国鉄9600型

国鉄9600型蒸気機関車を10分の1スケール国際規格5 inch ゲージに収めたこのミニSLは、日駒が嘗て東京工業高校時代に実習教材として設計製作・加工・組立・運転までを全てカリキュラム化し、全生徒諸君が製作に加わった壮大な工業教育の実践成果である。例えば動輪は当時鑄造実習室で木型製作から鑄込みを経て加工した本校自製のものであるが、同様に総数692点に及ぶ全ての部品は本校実習施設で生徒の実習によって製作されたものである。即ちそれは素材に生命を与える“ものづくりの楽しさ体験”であった。9600型は総計65輻が製造され今も日本国内各地で活躍している。蒸気機関車は圧力発生装置であるボイラーを動力源にするため、国の検査を受けた《認可ボイラー》を搭載するが、今も毎年認可更新を経ている本物である。当時工業高校日本一を喧伝された本校入魂の教育実践の精華であった。令和6年2月 識

日本工業大学 駒場中学・高等学校